

なかつがわ全市景気ウォッチャー調査

〈市内の景気の動向を接客や取引を通じて肌で感じている人たちによる客観的な景況感調査〉

平成21年10月調査結果

現在の景気の現状判断は、D I 値 27.4% となり、先月に比べ 7.1% 改善し、非常に厳しい状況から脱する現状判断となっています。特に、雇用関連は、21.5% と 14.3% と大幅な改善を示しています。また、家計動向関連も 5.5% 改善して 28.5% とこちらも厳しい状況ながら、改善傾向にあります。

次に1年前と比べた場合の景気の現状判断も、D I 値 2.3% 改善して、27.8% となり、先月からさらに非常に厳しい状況から脱する現状判断となっています。

また、3ヶ月前と比べた場合の景気の現状判断では、秋の観光シーズンも後半に入ったことから飲食観光関連で 5.8% 下げ、逆に先月悪化した雇用関連が 7.2% 持ち直して回復傾向を示して、全体では 40.2% と 0.5% の下げと小幅な動きとなりましたが、なおも厳しい現状判断が続く結果となりました。

さらに3～6ヶ月前の景気の先行き判断についても、サービス関連と小売関連の悪化が見込まれ、D I 値をさらに 4.1% 下げ 36.1% と厳しい先行き判断となりました。

◎全体的には、改善傾向にあると思われませんが3ヶ月前と比べた場合や先行きにおいて、低価格志向の強まりによる売上の減少や一般消費の不振による小売関連の動向と少し改善の兆しを見せている雇用関連について新卒者の就職状況などの動向を、さらに注視していく必要があると思われま

平成21年11月13日

なかつがわ全市緊急経済対策本部

調査の概要

○調査の目的

市内の景気の動向に関連のある人々の協力を得て、市内の景気動向を的確かつ迅速に把握し、景気動向判断の基礎資料とする。

○調査の対象

- 1 対象地域 市内全域
- 2 調査客体
家計動向、雇用等の代表的な経済活動に携わる、さまざまな業種の方々、45名

○調査事項

- 1 景気の現状に対する判断（方向性）
- 2 1の理由
- 3 2の追加説明及び具体的状況の説明
- 4 景気の先行きに対する判断（方向性）
- 5 4の理由

○調査の時期

調査は毎月、当月時点で、調査期間は毎月25日から月末まで

○有効回答率

95.6% 有効回答客体 43名

○判断方法

日本銀行で発表している「主要(全国)企業短期経済観測調査」いわゆる「日銀短観」や内閣府で発表している「景気動向指数」に使われている経済指数をディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)略して「D I」といいます。

「D I」には、「日銀短観」で使われる単純に3つの選択肢、たとえば「良い」、「変わらない」、「悪い」を用意し、回答から%を求め「良い」の%から「悪い」の%を引いた指数(%ポイント)が0を境に0以上になれば景気回復、0以下になれば景気後退を示す方法と「景気動向指数」のように3つ以上の選択肢を用意し、その選択肢に均等に0~1の評価点を与え、それぞれの回答から%を求めそれぞれの評価点を乗じたものの合計を指数(%ポイント)として50を境に50以上になれば景気回復、50以下になれば景気後退を示す方法の二つが主に使われています。

前者に比べ後者の方が選択肢が幅広くなり、より正確な指数を得ることができます。

今回の調査は、選択肢を5つ用意していますので、「景気動向指数」と同じ後者の方法で判断するものとします。

1 D I 値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、D I 値を算出する。

| 評価 | 良く なっている | やや良く なっている | 変わらない | やや悪く なっている | 悪く なっている |
|-----|-------------|---------------|-------|---------------|-------------|
| 評価点 | 1 | 0.75 | 0.5 | 0.25 | 0 |

2 DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど景気後退傾向、逆に100に近づくほど景気回復傾向であることを示す。

100 ← 50 → 0
 良くなっている 変わらない 悪くなっている

例えば

| | 良くなっている | やや良くなっている | 変わらない | やや悪くなっている | 悪くなっている |
|---------|---------|-----------|-------|----------------|---------|
| 調査結果 | 8 | 9 | 9 | 10 | 9 |
| 構成比(%) | 17.8 | 20.0 | 20.0 | 22.2 | 20.0 |
| 各DI値 | 17.8 | 15 | 10 | 5.6 | 0 |
| DI値(合計) | 48.4 | | ⇒ | ほんの少し景気が後退している | |

となります。

調査の結果

1 現在の景気の現状判断

現在の景気の現状としてD I値が27.4%となり、先月に比べて7.1%改善し、非常に厳しい状況からは脱する現状判断となっています。

内訳では、家計動向関連で小売関連が21.7%と7.6%の改善し、非常に厳しい状況から脱する兆しか見え、飲食観光関連で3.9%、サービス関連で2.7%とそれぞれ改善する現状判断となっています。

また、雇用関連でも、14.3%回復し、21.5%と極めて厳しい現状判断からは脱したものと考えられます。

表1 10月構成比

| | 良い | やや良い | どちらとも言えない | やや悪い | 悪い | 未回答 | D I 値 |
|--------|-----|------|-----------|------|------|-----|-------|
| 合計 | 0.0 | 7.0 | 27.9 | 32.6 | 32.5 | 0.0 | 27.4 |
| 家計動向関連 | 0.0 | 8.3 | 27.8 | 33.3 | 30.6 | 0.0 | 28.5 |
| 小売関連 | 0.0 | 6.7 | 20.0 | 26.7 | 46.6 | 0.0 | 21.7 |
| 飲食観光関連 | 0.0 | 15.4 | 23.1 | 46.2 | 15.3 | 0.0 | 34.7 |
| サービス関連 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 25.0 | 25.0 | 0.0 | 31.3 |
| 雇用関連 | 0.0 | 0.0 | 28.6 | 28.6 | 42.8 | 0.0 | 21.5 |

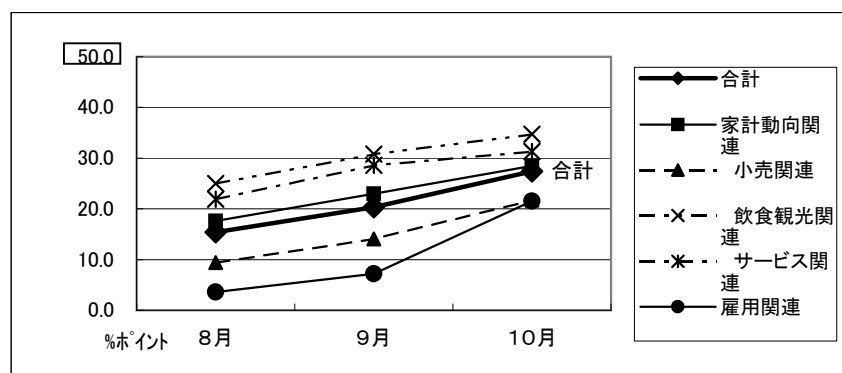
※「未回答」は、「どちらとも言えない」に見なしてD I 値を計算

表2 毎月の構成比

| 年 | 月 | 良い | やや良い | どちらとも言えない | やや悪い | 悪い | 未回答 | D I 値 |
|------|-------|--------|-------|-----------|---------|--------|-------|-------|
| 2009 | 8 | 0.0 | 2.3 | 11.3 | 27.3 | 56.8 | 2.3 | 15.4 |
| | 9 | 2.3 | 4.7 | 6.9 | 44.2 | 41.9 | 0.0 | 20.3 |
| | 10 | 0.0 | 7.0 | 27.9 | 32.6 | 32.5 | 0.0 | 27.4 |
| | (前月差) | (-2.3) | (2.3) | (21.0) | (-11.6) | (-9.4) | (0.0) | (7.1) |

表3 景気の現状判断D I 値

| | 2009年 | | | |
|--------|-------|------|------|--------|
| | 8月 | 9月 | 10月 | (前月差) |
| 合計 | 15.4 | 20.3 | 27.4 | (7.1) |
| 家計動向関連 | 17.6 | 23.0 | 28.5 | (5.5) |
| 小売関連 | 9.4 | 14.1 | 21.7 | (7.6) |
| 飲食観光関連 | 25.0 | 30.8 | 34.7 | (3.9) |
| サービス関連 | 21.9 | 28.6 | 31.3 | (2.7) |
| 雇用関連 | 3.6 | 7.2 | 21.5 | (14.3) |



2-1 1年前と比べた場合の景気の現状判断

1年前と比べた場合は、先月と比べ2.3%ポイント改善して27.9%となり、厳しい状況ながら改善している現状判断となっています。

内訳では、サービス関連で9.4%ポイントの改善、小幅ながら小売関連でも3.1%ポイント改善して非常に厳しいから脱する兆しが見えていますが、飲食観光関係は3.9%ポイント下げる結果となりました。

また、雇用関連3.6%ポイント改善したものの17.9%と非常に厳しい状況を示しています。

表1 10月構成比

| | 良くなっている | やや良くなっている | 変わらない | やや悪くなっている | 悪くなっている | 未回答 | D I 値 |
|--------|---------|-----------|-------|-----------|---------|-----|-------|
| 合計 | 0.0 | 7.0 | 27.9 | 34.9 | 30.2 | 0.0 | 27.9 |
| 家計動向関連 | 0.0 | 8.3 | 27.8 | 38.9 | 25.0 | 0.0 | 29.9 |
| 小売関連 | 0.0 | 0.0 | 26.7 | 40.0 | 33.3 | 0.0 | 23.4 |
| 飲食観光関連 | 0.0 | 15.4 | 30.8 | 30.7 | 23.1 | 0.0 | 34.6 |
| サービス関連 | 0.0 | 12.5 | 25.0 | 50.0 | 12.5 | 0.0 | 34.4 |
| 雇用関連 | 0.0 | 0.0 | 28.6 | 14.3 | 57.1 | 0.0 | 17.9 |

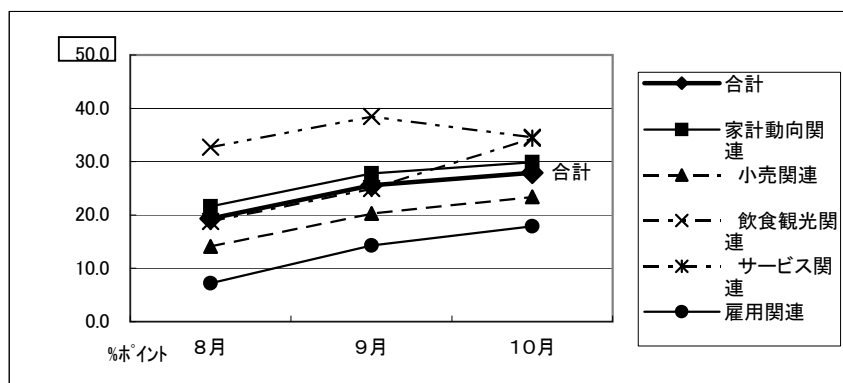
※「未回答」は、「どちらとも言えない」に見なしてD I 値を計算

表2 毎月の構成比

| 年 | 月 | 良くなっている | やや良くなっている | 変わらない | やや悪くなっている | 悪くなっている | 未回答 | D I 値 |
|------|-------|---------|-----------|-------|-----------|---------|-------|-------|
| 2009 | 8 | 0.0 | 9.1 | 13.6 | 22.7 | 54.6 | 0.0 | 19.3 |
| | 9 | 4.7 | 2.3 | 20.9 | 34.9 | 37.2 | 0.0 | 25.6 |
| | 10 | 0.0 | 7.0 | 27.9 | 34.9 | 30.2 | 0.0 | 27.9 |
| | (前月差) | (-4.7) | (4.7) | (7.0) | (0.0) | (-7.0) | (0.0) | (2.3) |

表3 景気の現状判断D I 値

| | 2009年 | | | |
|--------|-------|------|------|--------|
| | 8月 | 9月 | 10月 | (前月差) |
| 合計 | 19.3 | 25.6 | 27.9 | (2.3) |
| 家計動向関連 | 21.6 | 27.8 | 29.9 | (2.1) |
| 小売関連 | 14.1 | 20.3 | 23.4 | (3.1) |
| 飲食観光関連 | 32.7 | 38.5 | 34.6 | (-3.9) |
| サービス関連 | 18.8 | 25.0 | 34.4 | (9.4) |
| 雇用関連 | 7.2 | 14.3 | 17.9 | (3.6) |



2-2-1 3ヶ月前と比べた場合の景気の現状判断

3ヶ月前と比べた場合は、先月と比べ40.2%と0.5%下げ、微妙に悪化したという現状判断となりました。

原因としては、秋の観光シーズンも後半に入り、飲食観光関連が5.8%下げたためと思われます。小売関連、サービス関連は小幅な動きとなっています。

また、雇用関連は7.2%戻して53.6%と改善傾向を示す結果となっています。

表1 10月構成比

| | 良く なっている | やや良く なっている | 変わらない | やや悪く なっている | 悪く なっている | 未回答 | D I 値 |
|--------|-------------|---------------|-------|---------------|-------------|-----|-------|
| 合計 | 2.4 | 9.3 | 46.5 | 30.2 | 11.6 | 0.0 | 40.2 |
| 家計動向関連 | 2.8 | 8.3 | 38.9 | 36.1 | 13.9 | 0.0 | 37.5 |
| 小売関連 | 0.0 | 0.0 | 46.7 | 40.0 | 13.3 | 0.0 | 33.4 |
| 飲食観光関連 | 7.7 | 15.4 | 30.7 | 30.8 | 15.4 | 0.0 | 42.3 |
| サービス関連 | 0.0 | 12.5 | 37.5 | 37.5 | 12.5 | 0.0 | 37.5 |
| 雇用関連 | 0.0 | 14.3 | 85.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 53.6 |

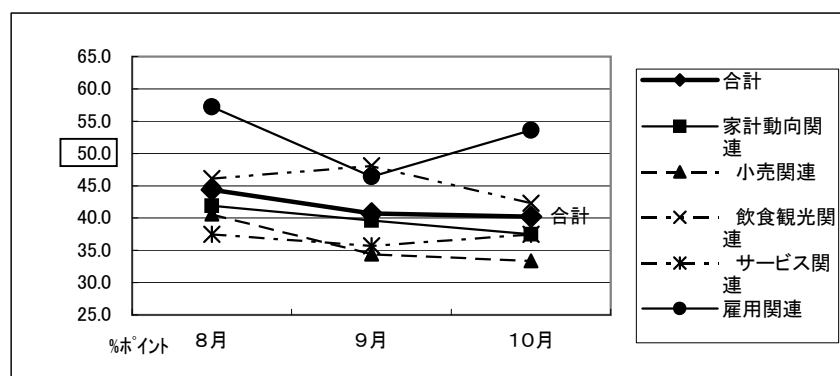
※「未回答」は、「どちらとも言えない」に見なしてD I 値を計算

表2 毎月の構成比

| 年 | 月 | 良く なっている | やや良く なっている | 変わらない | やや悪く なっている | 悪く なっている | 未回答 | D I 値 |
|------|-------|-------------|---------------|--------|---------------|-------------|-------|--------|
| 2009 | 8 | 0.0 | 20.5 | 47.7 | 20.5 | 11.3 | 0.0 | 44.4 |
| | 9 | 2.3 | 11.6 | 48.9 | 20.9 | 16.3 | 0.0 | 40.7 |
| | 10 | 2.4 | 9.3 | 46.5 | 30.2 | 11.6 | 0.0 | 40.2 |
| | (前月差) | (0.1) | (-2.3) | (-2.4) | (9.3) | (-4.7) | (0.0) | (-0.5) |

表3 景気の現状判断D I 値

| | 2009年 | | | |
|--------|-------|------|------|--------|
| | 8月 | 9月 | 10月 | (前月差) |
| 合計 | 44.4 | 40.7 | 40.2 | (-0.5) |
| 家計動向関連 | 41.9 | 39.6 | 37.5 | (-2.1) |
| 小売関連 | 40.6 | 34.4 | 33.4 | (-1.0) |
| 飲食観光関連 | 46.1 | 48.1 | 42.3 | (-5.8) |
| サービス関連 | 37.5 | 35.7 | 37.5 | (1.8) |
| 雇用関連 | 57.2 | 46.4 | 53.6 | (7.2) |



2-2-2 3ヶ月前と比べた場合の景気の判断理由

判断の理由として家計動向関連の小売関連では、来客数の減少が起因して「来客数の動き」が40.0%、「販売量の動き」が46.7%、「単価の動き」が40.0%と高くとなっています。

飲食観光関連では、秋のイベントの効果などから「来客数の動き」が76.9%と突出して大きくなっています。

サービス業関連では、お客様が先を考えてお金を使わないなどの感覚から「お客様の様子」が62.5%と大きくなっています。

次に、雇用関連では、新卒者の2次募集がないなど「求人数の動き」が71.4%と高く、ついで「周辺企業の様子」が57.1%と高くなっています。

| | ①来客数の動き | ②販売量の動き | ③単価の動き | ④お客様の様子 | ⑤競争相手の様子 | ⑥それ以外 |
|--------|---------|----------|----------|----------|----------|-------|
| 家計動向関連 | 52.8 | 36.1 | 30.6 | 27.8 | 0.0 | 5.6 |
| 小売関連 | 40.0 | 46.7 | 40.0 | 13.3 | 0.0 | 6.7 |
| 飲食観光関連 | 76.9 | 30.8 | 38.5 | 23.1 | 0.0 | 7.7 |
| サービス関連 | 37.5 | 25.0 | 0.0 | 62.5 | 0.0 | 0.0 |
| | ①求人数の動き | ②求職者数の動き | ③採用者数の動き | ④雇用形態の様子 | ⑤周辺企業の様子 | ⑥それ以外 |
| 雇用関連 | 71.4 | 42.9 | 42.9 | 0.0 | 57.1 | 0.0 |

※複数回答による割合

3 3～6ヶ月先の景気の先行き判断

景気の先行きについても、先月の40.2%ポイントからさらに4.1%ポイント下げて36.1%ポイントと厳しさを増す予想となっています。

特にサービス関連では、50.0%ポイントから34.4%ポイントと15.6%ポイントの大幅な悪化を予想しています。さらに小売関連でも4.4%ポイントの下げを見込み30.0%ポイントと警戒が必要な水準になり始めています。

また、雇用関連では、少し悪化の現状維持が見込まれています。

表1 10月構成比

| | 良くなる | やや良くなる | 変わらない | やや悪くなる | 悪くなる | 未回答 | D I 値 |
|--------|------|--------|-------|--------|------|-----|-------|
| 合計 | 0.0 | 7.0 | 46.5 | 30.2 | 16.3 | 0.0 | 36.1 |
| 家計動向関連 | 0.0 | 8.3 | 38.9 | 33.3 | 19.4 | 0.0 | 34.0 |
| 小売関連 | 0.0 | 0.0 | 40.0 | 40.0 | 20.0 | 0.0 | 30.0 |
| 飲食観光関連 | 0.0 | 15.4 | 38.5 | 30.7 | 15.4 | 0.0 | 38.5 |
| サービス関連 | 0.0 | 12.5 | 37.5 | 25.0 | 25.0 | 0.0 | 34.4 |
| 雇用関連 | 0.0 | 0.0 | 85.7 | 14.3 | 0.0 | 0.0 | 46.4 |

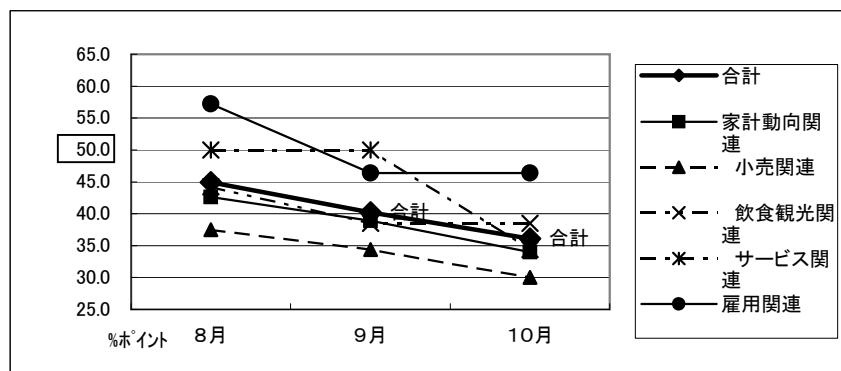
※「未回答」は、「どちらとも言えない」に見なしてD I 値を計算

表2 毎月の構成比

| 年 | 月 | 良くなる | やや良くなる | 変わらない | やや悪くなる | 悪くなる | 未回答 | D I 値 |
|------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|--------|
| 2009 | 8 | 2.3 | 18.2 | 47.7 | 15.9 | 13.6 | 2.3 | 44.9 |
| | 9 | 0.0 | 14.0 | 41.9 | 34.8 | 9.3 | 0.0 | 40.2 |
| | 10 | 0.0 | 7.0 | 46.5 | 30.2 | 16.3 | 0.0 | 36.1 |
| | (前月差) | (0.0) | (-7.0) | (4.6) | (-4.6) | (7.0) | (0.0) | (-4.1) |

表3 景気の先行き判断D I 値

| | 2009年 | | | |
|--------|-------|------|------|---------|
| | 8月 | 9月 | 10月 | (前月差) |
| 合計 | 44.9 | 40.2 | 36.1 | (-4.1) |
| 家計動向関連 | 42.6 | 38.9 | 34.0 | (-4.9) |
| 小売関連 | 37.5 | 34.4 | 30.0 | (-4.4) |
| 飲食観光関連 | 44.2 | 38.5 | 38.5 | (0.0) |
| サービス関連 | 50.0 | 50.0 | 34.4 | (-15.6) |
| 雇用関連 | 57.2 | 46.4 | 46.4 | (0.0) |



景気の現状判断の理由

| 分野 | 景気の判断 | | 調査対象 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----------------------------|-----------|-----------|-----------|---|---|
| | 3ヶ月前 | 1年前 | | | |
| 家 計 動 向 関 連 | 良くなっている | やや良くなっている | 観光案内所 | 来客数と販売量の動き | ・オリジナル商品「プチ栗きんとんめぐり」の人气が、まだ継続中。 |
| | やや良くなっている | やや良くなっている | レストラン | 来客数の動き | ・月の前半は台風が上陸しましたが、それ以上に入込客が増えています。秋のイベントが目白押しで天候に恵まれているからだと思います。 |
| | | やや悪くなっている | 旅館 | 来客数の動き | ・栗・茸等の料理、紅葉の観光で。 |
| | | やや悪くなっている | 福祉施設 | 販売量の動き | ・一部の会社や販売店で忙しく、売上も上っていると聞きました。 |
| | 変わらない | やや良くなっている | I T 関連会社 | 販売量の動き | ・イベントの効果。 |
| | | 変わらない | 小売店 | 販売量と単価の動き | ・売れた月があれば、売れない月があり、上向きを感じられない。 |
| | | 変わらない | スーパー | 販売量と単価の動き | ・客数は減ってないけど、客単価が下がっている。特売品ハンターが多くなっている。 |
| | | 変わらない | 自動車販売 | 来客数の動きとお客様の様子 | ・来客されてもなかなか成約までたどりつかない。 |
| | | 変わらない | 道の駅 | お客様の様子 | ・嗜好的な品物の動きがにぶい。 |
| | | 変わらない | レストラン | 来客数、販売量、単価の動き | ・もっと悪化を予想していたが、前年並の売上げと人出を維持している。 |
| | | 変わらない | 旅館 | 単価の動き | — |
| | | 変わらない | タクシー運転手 | 来客数の動きとお客様の様子 | ・日によって、乗客数がバラついている。少ない時は、極端に少ない。 |
| | | やや悪くなっている | 商店街関係者 | 販売量の動き | * |
| | | やや悪くなっている | 商店街関係者 | 販売量の動き | ・今月は祭・イベント等が行なわれ、人出は少し多かったが、購買数量が少ない。 |
| | | やや悪くなっている | 金融機関 | 来客数の動きとお客様の様子 | ・融資申込内容では、住宅新築や設備投資など前向きなものはほとんどなく、生活資金の申込が多い。 |
| | | 悪くなっている | 小売店 | 来客数と販売量の動き | ・単価の小さい買い求めが以前と変わらず多くなっている。 ・企業の使用が、以前と比べ少なくなっている。 |
| | | 悪くなっている | 家電販売店 | 来客数の動き | — |
| | | 悪くなっている | ホテル | 来客数の動き | ・昨年に比べ客数が減少。 |
| | | やや悪くなっている | 小売店 | お客様の様子 | ・修理等のお客様がふえている。新しく商品を買おうという意欲は低い。 |
| | | 変わらない | 道の駅 | 販売量の動き | ・産直および物販については、主力であるトマトが回復してきたため良好だが、一方で飲食は来客、売上ともやや減少した。 |
| | 変わらない | 金融機関 | お客様の様子 | ・直近決算の到来しているほとんどの取引先は、減収減益となっている。 ・業況の回復感もなく、厳しい状況が続いている。 | |
| | やや悪くなっている | 商店街関係者 | 組合加盟店の聞取り | ・客が来ない、単価は低い等。ただし、商業協組のエコポイントの申込については、1, 0 0 0 件程あり、家電の販売は好調であるが、大多数は量販店の売上と思われる。 | |
| | やや悪くなっている | 商店街関係者 | 来客数の動き | ・生活必需品でない商品が多い為。 | |

| | | | | | |
|---------|-----------|-----------|---------------------|--|---|
| | やや悪くなっている | 小売店 | 販売量と単価の動き | ・発注の回数が若干悪くなっている。 | |
| | やや悪くなっている | 小売店 | 単価の動き | ・レベルを下げてでも、単価の低い商品を買って行かれる。 | |
| | やや悪くなっている | スナック | 来客数の動き | ・来客する回数が、減っているように思います。 | |
| | やや悪くなっている | 居酒屋 | 来客数と単価の動き | — | |
| | やや悪くなっている | 旅行代理店 | 来客数の動きとお客様の様子 | ・個人での旅行が多く、しかも安い所をさがす方が増えてます。秋の行楽シーズンですが、来店される方も少ないと思います。 | |
| | やや悪くなっている | 美容室 | お客様の様子 | ・景気の動向に敏感である。 | |
| | やや悪くなっている | 理容室 | 来客数の動き | — | |
| | 悪くなっている | スーパー | 来客数と単価の動き | ・客数が減少しています。買い控えが続いています。 | |
| 悪くなっている | 悪くなっている | 小売店 | 単価の動き | — | |
| | 悪くなっている | 小売店 | 来客数と販売量の動き | ・すべてに悪いが、特に来客数の減少が大きいと感じます。取引先の飲食店も同様に減少しているようで、地域全体としての減少なのかと感じます。 | |
| | 悪くなっている | レストラン | 来客数、販売量、単価の動き | ・客単価、来客の減少。 | |
| | 悪くなっている | 飲食店 | 来客数、単価の動きとお客様の様子 | ・企業（営業）関係者と家族客の減少。（しかし、土・日に限って、以前と比べ遠方のお客様の来店増加、若いカップルが多いと感じる。 | |
| | 悪くなっている | タクシー運転手 | お客様の様子 | ・お客様自身が、この先の事を考えてお金を使わない。 | |
| 雇用関連 | やや良くなっている | 自治体労働政策担当 | 求人数、求職者数と採用者数の動き | ・有効求人倍率の推移 H20. 8月 1.51 H21. 6月 0.51 H21. 8月 0.52 | |
| | 変わらない | 変わらない | 労働金庫 | 採用者数の動きと周辺企業の様子 | ・さらにリストラを企業が取組んでいる。 |
| | | 変わらない | 学校就職担当 | 採用者数の動きと周辺企業の様子 | ・一次内定不合格者数の増加（昨年度の50%増し）、採用予定人数を上回って採用していない。むしろ、予定数を下回るころがある。（採用基準を厳しくしている） ・3ヶ月先の受注計画が立てられないので現状の人員で対処している。来年度の採用計画は未定である。（大手の企業では見込み数の連絡を受けている。） ・二次応募先企業選定に大変苦慮した。 |
| | やや悪くなっている | 労働相談所 | 求人数の動きと周辺企業の様子 | ・有効求人倍率も低位安定のままであり、特に製造業の求人は少ない。製造業の生産状況は、28社の調査で70～80%の仕事量である。 | |
| | 悪くなっている | 職業安定所 | 求人数、求職者数の動きと周辺企業の様子 | ・新規求職は、6月の前年比32%増以降、25%程度の増で推移している。今まで育児等で家庭に入っていた方の新規求職が増加しているように感じられる。（世帯収入の減少の補てんが一因か。） | |
| | 悪くなっている | 学校就職担当 | 求人数の動き | ・高卒者対象の求人（二次募集）がまったく来ない。 | |
| | 悪くなっている | 人材派遣会社 | 求人数と求職者数の動き | ・管内の有効求人倍率が過去最低となっている。 | |

*は、FAXの不具合で読み取ることができませんでした。

景気の先行き判断の理由

| 分野 | 景気の判断 | 調査対象 | 追加説明及び具体的状況の説明 | |
|----------------------------|---|---------|---|--|
| 家 計 動 向 関 連 | やや良くなる | レストラン | ・今後も、秋のイベントが多く開催する予定なので。 | |
| | | ホテル | ・現在が底と思われる為。 | |
| | | 福祉施設 | ・中国やインドが景気がよくなってきているので、日本も良くなったいくのではと思います。 | |
| | 変わらない | 商店街関係者 | — | |
| | | 小売店 | ・企業が元気にならないと、変らないと思います。 | |
| | | スーパー | ・年末年始にも現在の様な買い控え傾向が続いてしまうと最悪なのですが… | |
| | | スーパー | — | |
| | | 家電販売店 | — | |
| | | 自動車販売 | ・売上が昨年比ダウンしているため。 | |
| | | 道の駅 | — | |
| | | 道の駅 | ・飲食の不調を物販でカバーできると思うので。 | |
| | | レストラン | ・良い悪いの要因が判らない。政権が変わった影響がどう出るか判らない。 | |
| | | 居酒屋 | — | |
| | | 旅館 | — | |
| | | 金融機関 | ・国内の景気が急激に回復する見込みはなく、現状の景気が続くとしている取引先が多い。 | |
| | | 理容室 | ・特に大きな変化のきざしが見えないので、相変わらず財布のひもは固いのではないかと思う。 | |
| | | タクシー運転手 | — | |
| | | やや悪くなる | 商店街関係者 | ・エコポイントと交換された商品券は、地元資本の商店でしか利用できないため、多少でも地元の消費に役立てばと考える。 |
| | | | 商店街関係者 | ・中小企業のお客様のお話しや、メーカー、問屋の話の内容からもいいお話しは聞けない、当面は良くなると思えにくい。 |
| | | | 小売店 | ・さまざまな勉強会や本等の情報からしても良くなるはずはないと思えます。 |
| 小売店 | ・冬のボーナス減。 | | | |
| 小売店 | ・どっちにころぶか非常に不透明な状態ではあるが、良くなるという要素がややとぼしい様に感じる。 | | | |
| 小売店 | — | | | |
| 飲食店 | ・製造業者より元気な声が聞えない。 | | | |
| スナック | ・インフルエンザも少しは、来客する回数が減っている要因にもなっているかも知れません。 | | | |
| 旅行代理店 | ・これから年末にかけては、出費が増えるので、財布の紐はかたくなる。旅行などには、お金をかける方が減るのでは…。 | | | |

| | | | |
|---------|--------|--------------------|---|
| | | 観光案内所 | ・案内所を訪れる観光客の減少。 |
| | | 金融機関 | ・長期化することで、悪くなる。 |
| | | I T 関連会社 | ・大型店の安売合戦、クリスマス商戦等、年末に向けて大デフレに向い、物が動かないような気がする。ボーナス状況も気になる。 |
| | 悪くなる | 商店街関係者 | ・良くなる様子が見つからない。 |
| | | 小売店 | ・現在の状況から考えると年末に景気が昨年より上向くとは考えにくい。 |
| | | 小売店 | ・製造業社員の収入が安定しないのでは。 |
| | | レストラン | ー |
| | | 旅館 | ・忘年会の縮小、取り止め等、各会社の賞与に期待し、個人での宴席を希望。 |
| | | 美容室 | ・景気上昇の要素がない。 |
| タクシー運転手 | | ・毎月、売上額も客数も減少している。 | |
| 雇用関連 | 変わらない | 職業安定所 | ・新規求人は、前年比24%増となったが、地域の主力である製造業関係は、依然低調のままである。 |
| | | 労働金庫 | ・良くなる要素が見当たらない。減税による可処分所得向上をしなければ消費は上らない。 |
| | | 学校就職担当 | ・来校される企業担当者から良くなるという返事は聞こえてこない。エコカー等の減税も年度内、それ以降の見込みが不透明で厳しく捉えている。設備投資関連の企業からの動きはゼロである。 |
| | | 学校就職担当 | ・景気は上向きになりつつあるというが、地方までくるのには、半年以上はかかるだろう。 |
| | | 労働相談所 | ・今より良くなる材料が見当たらない。 |
| | | 自治体労働政策担当 | ・新規求人数が増加しているものの今後増加が続くか不透明な状況である。 |
| | やや悪くなる | 人材派遣会社 | ・年末～来年度へと日々、厳しくなると思われ今後の予測が不可能。 |